



◇「働き方改革」反対・改憲阻止！ 12・17労働者集会

* 日時：12月17日（日） 13:30～ 15:15銀座デモ出発
（解散地点は東京駅そばの鍛冶橋駐車場前）

* 呼びかけ団体：合同・一般労働組合全国協議会
全国労働組合交流センター
国鉄東京動力車労働組合
動労総連合1047協議会
全日本学生自治会総連合

◇「働き方改革」はブラック政策。怒りの声を！

これから国会で審議されていく「働き方改革一括8法案」は、いわゆる「残業代ゼロ法」や「柔軟な働き方」と称した裁量労働制の拡大・個人請負や「限定正社員」の拡大によるブラック企業の手法の合法化を目指したものです。

労働の不安定化は、学生・保護者を不安にさせ、大学のさらなる就職予備校化・学問の商業化を推進する社会環境もつくりだします。未来の労働者として、学び・問うて生きる学生として、労働者集会に集まろう！

12.17 HIBIYA

改憲・朝鮮戦争とめよう！
安倍を倒そう！
銀座デモ
15:15出発

日比谷野外音楽堂

「働き方改革」関連法案反対！ 共謀罪粉碎！

12.17 労働者集会 12月17日 日 13:30開始 (13時開始) 資料代 500 円

発信／労働組合、市民団体、青年、学生 など

呼びかけ／合同・一般労働組合全国協議会、全国労働組合交流センター、
国鉄東京動力車労働組合、動労総連合1047協議会、全学連

連絡先／東京都台東区元浅草 2-4-10 五宝堂ビル5 F
電話 03-3845-7461

全学連

全日本学生自治会総連合(斎藤郁真委員長)

TEL/FAX 03-3651-4861 mail_cn001@zengakuren.jp http://www.zengakuren.jp/

◇団結して、社会関係を変えよう！

増加する非正規職やブラック企業、それに対抗して個人レベルでできる努力は、早くキャリアパスを描き、スキルアップに励み、就職活動に精を出すこと。そう思っている学生は決して少なくないと思います。社会に文句を言っても社会はすでにできあがっているわけで、社会を生き抜くベターな方法として就活を捉えるのは当然のことでしょう。

しかし。「労働力市場」という言葉が示すように、この社会では労働力も商品として扱われており、他の商品と同じく、製造コストを基準として需給バランスでその価値は変化します。100人のうち1人しか持っていないレアなスキルは高く買われ、良い雇用条件を得る可能性を与えるでしょう。では、このレアスキルを100人全員が持つことが出来たら全員就職できるのか？ 結論は、レアスキルがレアではなくなるだけです。この100人の労働者は、スキル習得にかけた時間もカネも無駄にすることになるでしょう。そして労働力の安売り競争は労働力全体の価値を低めていく。労働条件が悪化してきた本当の理由は、ここにあります。

スキルだけが求められる一方、「最低限できること」として就活特有の作法とでもいうべき態度が求められ、ひたすら権威に従順であることが要求される。私たちはお互いの努力



を無駄にしあい、個性を削りあい、企業には足元を見られ、労働条件が悪くなる。非正規職が増えたことで就職率のデータは改善しても、ブラック企業は増えるばかりです。

個々人のスキルアップ合戦ではなく、団結を！ 私たちには生活があるから、ただ競争を止めることはできないのが現実です。だからこそ、未来の労働者としての自覚を持ち、団結して権利を勝ちとる闘いに参加し、闘う気概のある労働者とともに立ち上がろう。

◇闘う労働運動を甦らせよう！

労働者の団結、といえば労働組合です。みなさんは、労働組合にどんなイメージを持っているでしょうか。身近に無さ過ぎて想像できない人もいれば、悪いイメージを持っている人もけっこういると思います。

実際、日本の労働組合が悪いイメージを持たれていることには根拠があります。たとえば日本最大の労働組合は、「連合」という巨大な労働組合の全国組織に所属する「U Aゼンセン」（約170万）という組合です。この組合はユニオンショップ協定（労働者に労組加入義務。社員＝組合

員）を会社と結んでいます。つまり、この組合は会社とグルになって絶対に解雇撤回闘争はしない（社員でなくなった時点で組合員ではない）、そして会社と衝突するような組合員は除名することによって合法的に解雇する、という恐るべき腐敗した組合です。U Aゼンセンはスーパーや百貨店などの流通・販売、医療やホテルなどのサービス産業で150万人を組織しており、その実態はこの制度による強制加入です。そして、最もブラック企業の多い産業がこれらの産業であることは多くの人が知るところです。これが日本最大の労働組合の正体です。

ブラック企業は自民党政権だけでなく、これらの「社会運動」が私たちを屈服させ、闘わせない・団結させないことによって増えているのです。

国際競争の激化のなか、U Aゼンセンのような労働組合は世界的にも増えており、労働組合のあり方をめぐる大激突がはじまっています。日本でも動労総連合というJRの労働組合をはじめとして「闘う労働運動を甦らせよう」という潮流が不屈に闘いを続けてきており、11月にはアメリカ・韓国・ドイツの労働者と共に「働き方改革」反対・戦争反対の4700人の国際集会が行われました。

国際競争に対し、国際的な団結をつくろう。学生は闘う労働運動とつながろう。



◇労働法の改悪と戦争・改憲は一体。

労働者民衆が主人公の社会をつくろう！

前述のU Aゼンセンは、10月の衆議院選挙で希望の党と自民党を支持しました。U Aゼンセン本部は2004年に「改憲・徴兵制賛成」を表明し、「日本会議」という日本最大の保守系団体の中心人物・櫻井よしこ氏から期待を寄せられています。かつて、太平洋戦争時には「産業報国会」という労働組合組織がありました。生産や輸送など「戦力」の一大要素が日々の労働であるからこそ、労働者支配と戦争は一体の問題です。

それは大学においても同じです。研究資金のために軍事研究に向かっていく大学と、私たちを優秀な社畜とする教育制度は一体です。未来の労働者として団結し、行動しよう。12・17労働者集会に集まろう！